

様式第3号（第8条関係）

発 言 者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
清水学校教育課長	【開会】
小野田第20採択地区教科用図書採択地区協議会長	【あいさつ】 あいさつ 第20採択地区教科用図書採択地区協議会長
清水学校教育課長	【議事】 本日の資料確認 ① 次第 ② 第20採択地区教科用図書研究調査報告書 ③ 埼玉県教育委員会調査資料 ④ 各小学校、保護者研究調査結果報告書 の4点 協議に入る。協議の進行については、第20採択地区教科用図書採択地区協議会規約第9条第2項により、第20採択地区教科用図書採択地区協議会 会長 の 小野田 教育長 にお願ひする。
小野田第20採択地区教科用図書採択地区協議会長	はじめに、第20採択地区教科用図書採択地区協議会規約第10条により、この会は公開とするが、よいか。
各委員	(賛成の声)
小野田会長	この会議を公開とする。 傍聴される方がいたら傍聴について説明し、案内するよう願う。
	(傍聴人 8人 着席)
小野田会長	事務局より研究調査報告について説明を願う。
担当指導主事	説明する。本日の調査研究報告は、担当指導主事が、教科ごとに全ての教科書について、調査員が作成した資料「教科用図書調査研究報告書（第19・20採択地区 調査員調査研究会）」に基づいて報告する。報告後、質疑を行う。報告は、「令和6年度使用小学校用教科書目録」の順で行う。また、埼玉県教育委員会の調査資料も参照願う。
小野田会長	報告の方法について質問はあるか。
各委員	(特になし)
【国語】 松村指導主事 (羽生市教委)	国語について報告する。 東京書籍 新編 新しい国語 【内容】 ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ○「情報のとびら」が新設されたことによって、情報の扱い方に関する事項を取り立てて教材化し、自分の考えを理由とともに表す際に必要となる知識・技能を確実に習得できるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○系統性を重視した学習活動を設定しており、前学年までの学習と関連付けながら各領域の能力の育成を図り、1年間を通してより多様な思考ができるよう構成されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○各巻冒頭の「国語の学習の進め方」には、言葉の力を身に付けることが大切であることと、既習との関連を意識して単元の見通しをもてるようにすることが説明されている。

<読書に親しむ態度を育成するための工夫>

○児童の読書体験を豊かにするために、多様なジャンルの本や著名人の読書体験エッセーを紹介している。また本の一部を掲載するなど、本を手に取りたくなる工夫がされている。

【資料】

○二次元コードで視聴できる資料のタイトルが記載され、話すこと・聞くことのモデル動画、気付きを促すエラーモデル、第1学年における特殊音節の習得に関する動画などを活用できるようになっている。

【表記・表現】

○3年生上巻から分ち書きではなくなり、低学年2年間を通して語彙の習得を重要視するような表記となっている。

【総括】

○各単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」として明示し、それを「見通す」「取り組む」「振り返る」の3ステップで獲得する工夫がされている。

○学習ページでは、上段に学習活動の展開、下段にノート例や対話例など具体的な学びの姿を示し、学習が見渡せるように工夫されている。

教育出版 ひろがる言葉 小学国語

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○児童が、必要な情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりできるよう、体系的なまとめのページが新設された。複数の教材で何度も反復して学習することにより、実際に活用できる力が身に付くように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○各領域の学習過程において、目的意識や相手意識をもたせることのできる学習活動を設定しており、児童自身にとって必然性のある活動の中で学び合うことができるようになっている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○各巻の巻頭には「○年生で学ぶこと」として、1年間の学びの見通しと

実生活との関連、単元ごとに学習過程に対応した4ステップの「学習の手引き」が示され、指導事項が明確になっている。

<読書に親しむ態度を育成するための工夫>

- 「ひろがる読書の世界」という図書紹介のコーナーが、夏休み前の学習時期に新設された。また、「学習のてびき」では、紹介冊数を、現行の教科書の2冊から3冊に増やし、紹介冊数の充実が図られている。

【資料】

- 二次元コードにはコンテンツの種類ごとにマークが示されており、ワークシート形式、学習活動を説明する動画、筆者や作者に関する情報などが視聴できるようになっている。

【表記・表現】

- 2年生下巻から分ち書きではなくなり、2年生の1年間を通して、通常の表記に適応できるようになっている。

【総括】

- 児童が主体的に学ぶことができるように、「学びが見える」「学びがわかる」「学びが生きる」工夫がされている。
- 「学習のてびき」の中に、学習活動を支える図解や児童の反応例を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。

光村図書出版 国語

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- 「情報」教材が年間2か所に整理され、重要ポイントが端的にまとめられている。各領域の学習活動と密接に関連させて配置されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- 各領域の学習過程において、児童の「問い」を重要視しており、自らの問いに迫る思考場面により考えを深めることで、思考力・判断力・表現力を育てることをねらいとしている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 各巻冒頭の「国語の学びを見渡そう」では学び方が示されており、単元ごとには「問いをもとう」が記載されている。児童が問いをもつことによって主体的な学びが始まり、広がることが強調されている。

<読書に親しむ態度を育成するための工夫>

- 読書によって生活を豊かにする児童を育成するために、読書に関わる力を整理し、読書単元「本は友達」が年間2か所に位置付けられている。

【資料】

- 二次元コードの上部にタイトルが記載されており、問いをもつための補助となる動画、紹介文やポスターを書くときに参考になるモデル文の全

	<p>文、作者・筆者のインタビュー動画などが収録されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○2年生では分ち書きの一文節が段階的に長くなり、最終的に通常の書き方になるように移行している。</p> <p>【総括】</p> <p>○「学び方が分かる」「学ぶ楽しさがある」「学びがつながる」の3つの柱で、児童が主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○学習ページでは、二段構成で上段に活動の流れ、下段に学習ポイントが書かれ、学習を進めやすくするように工夫されている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
松永委員	<p>国語科においては、教材として、物語文や説明文、論説文等あるが、学習上、それが子供たちにとって魅力的、価値あるものであることが大切である。指導する教員が実態に即して創造していくものだが、例示されている学習活動が魅力的で、意欲を喚起することが当然必要となってくる。どの教科書においても、様々な観点から工夫が凝らされている。国語科は、教材を活用して学習活動を行うことによって、日常の言語活動に必要な生きて働く言語能力を身に付けることが目的である。例えば、3社共通で4学年の教材として「ごんぎつね」を掲載しているが、不易な価値をもつ魅力的な教材であると思う。学習活動を展開するにあたっては、教材を活用して、学習指導要領の4学年の内容の、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに読むことといった、言語能力を身に付けることが非常に重要であると考えている。そうした学習指導の展開を想定しているか、それ以降の同様の内容を扱った教材において、それを受けて学習活動が例示されているか、スパイラルな形で系統性ができているか、縦の関係で見えていくことが大事であると考えている。これが国語科の教科書の特徴であると捉えている。教材を理解させるのが目的ではないということである。例えば、絵本は挿絵がたくさんあり、挿絵を見ながら想像を広げていく。しかし、国語科では、挿絵に頼ってしまい、文章から想像を広げられないこともある。学習活動、学習指導をとおして、確実に生きて働く言語能力を身に付けることができるかという観点で見えていくよと感じる。調査報告書にはこれらがわかりやすく示されており、参考に研究を進めていく。また、例えば文学的教材が読書活動の中で生かされているかを見ていくことについても、教材を参考にしながら研究を進めていった。</p>
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
遠藤委員	<p>児童が読書に向かえるように、いろいろな本が紹介されて、興味を引くものとなっている。読み聞かせを行っている、自分の考えを発表する力の必要性を感じ、これから求められる力ではないかと考える。教科書を見</p>

	<p>ていると、楽しくてつい読み込んでしまう。「ごんぎつね」は昔からある物語だが、これ以外に日本の話はないのかという思いはある。読み聞かせにおいて、日本の物語と新しい本を読んだ際、どちらが好きか聞くと、全員が日本の物語はあまり好きではないと言っていた。よい日本の物語はたくさんあるが、今の子供たちは昔話をあまり聞かないのだと知った。今日の調査報告書を読み、もう一度教科書を読み直したいと思う。</p>
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
小野田会長	教科書を読み、二次元コードにより資料にアクセスした。調査研究において、授業中、子供たちがタブレットを手に持っていることを想定しながら研究したと思うが、二次元コードを子供たちが活用すること、活用する場面を想定したときに、タブレット内に表記される情報は各社異なっていたが、そうした特徴はどのように研究されたか。
松村指導主事	東京書籍では、話すこと・聞くことのモデル動画、気付きを促すエラーモデル、第1学年における特殊音節の習得に関する動画があげられている。教育出版では、ワークシート形式、学習活動を説明する動画、筆者や作者に関する情報などが視聴できるようになっている。光村図書では、問いをもつための補助となる動画、紹介文やポスターを書くときに参考になるモデル文の全文、作者・筆者のインタビュー動画が収録されている。3社3様で特徴がある。
小野田会長	授業中にリアルタイムで学びの資料にするものと、家庭で自主学習として使えるものなど様々な特徴があるが、そういった活用場面を想定した協議は行われていたか。
松村指導主事	活用場面についての協議は行われていない。
小野田会長	各社工夫されており、子供たちが実際に使う場は大切であると感じた。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に書写をお願いします。
【書写】 岡野指導主事 (加須市教委)	<p>書写について報告する。</p> <p>東京書籍 新編 新しい書写</p> <p>【内容】</p> <p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○学年の発達段階に応じて重点化しながら、系統的に単元を配列し螺旋的に学習できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○文字列や問い掛けの文で課題への気付きを促したり、「振り返ろう」では話し合う活動を取り入れたりしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「学びを生かそう」は、日常生活や学校生活に生かせる教材を取り上げ</p>

て、一年間の学習を振り返り、活動できるように工夫されている。

<毛筆と硬筆との関連>

○毛筆の文字の右隣のページには、硬筆でどのように関連付けるか筆順、字形、点画のつながりなどに気を付けて書く活動が設定され、教科書に書き込めるようになっている。

<各教科や日常生活との関わり>

○他教科や日常生活においても書写の学習が生かせるように、「生活を広げよう」で手紙やポスター、新聞などの書き方が取り上げられている。

【資料】

○「資料」のコーナーでは、各学年に応じて身近な内容が取り上げられている。

【表記・表現】

○低学年では、鉛筆を中心とした硬筆の学習においても手本の文字が毛筆書体となっていて、画の重なり方がよくわかるような色使いになっている。

【総括】

○前回との違いとして、左利き児童への配慮が見られる。また、教科書のサイズが小さくなり、説明やイラストを減らすなどして内容がシンプルになっている。

○「書写のかぎ」で学習内容を明確にし、自らねらいに気付くよう工夫されている。

教育出版 小学 書写

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○全学年に「書いて伝え合おう」を設定し、書写で学習したことを生活や授業の中で生かせるよう系統的に示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「考えよう」を提示し、その答えを児童自ら考えさせるようにして、思考力を高められるような工夫がされている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○学習の進め方を①～④の4ステップで表し、具体的な手順を示している。スモールステップで具体的な学習の進め方を示し、主体的に取り組ませるよう工夫されている。

<毛筆と硬筆との関連>

○毛筆学習の前後に、「ためし書き」と「まとめ書き」を硬筆で教科書に書き込めるようになっている。その際、筆順、字形、点画のつながりなどポイントがわかるように工夫されている。

<各教科や日常生活との関わり>

○手紙やはがき、お礼状などの書き方を学年の発達段階に応じて扱っているので、日常生活で活用できるようになっている。

【資料】

○全学年において、「知りたい文字の世界」のコーナーがあり、書写に関する知識に触れることができるようになっている。

【表記・表現】

○筆圧を大中小で示し、点画の筆使いを表している。

【総括】

○前回との違いとして、低学年の課題の文字が、大きめになっている。また、学習のステップを7段階から4つのステップとした。

○「ここが大切」で学習内容を的確におさえさせ、「考えよう」で児童に考えさせ、思考力を高める工夫をしている。

光村図書出版 書写

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○各学年の「書写 広げたい」では、原稿用紙の使い方や、マスや行の中に字を収める書き方、文字の大きさや配列などの技能が赤字で示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○3年生以上では、「学習の進め方」の「考えよう」で、ねらいに即した考える視点が示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○毎時の学習過程「学習の進め方」を「1 考えよう」→「2 確かめよう」→「3 生かそう」と自己評価で構成し、型を定着させ見通しをもたせて主体的に取り組めるように工夫されている。

<毛筆と硬筆との関連>

○「生かそう」では、毛筆で書いて学んだことを硬筆に生かせるように、教科書に書き込む欄がある。

<各教科や日常生活との関わり>

○手紙、掲示物などの書き方などが発達段階に応じて取り上げられており、各教科の学習や日常生活において活用できるようになっている。

【資料】

○各学年で「書写 広げたい」を設け、他教科への広がり掲載されている。

【表記・表現】

○キャラクターの姿勢や体の動きなどで、「とめ」、「はね」、「はらい」や

	<p>点画のつながりが示されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○前回との違いとして「みずふででかいてみよう」のページがある。また、「たいせつ」のところは、文章と文字の絵が一緒に書かれている。</p> <p>○「たいせつ」で学習内容を的確におさえさせるとともに、巻末に『「たいせつ」のまとめ』として「たいせつ」の内容を一覧で振り返ることができるように工夫されている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
秋本委員	小学生の鉛筆の持ち方や筆順がとても気になっているが、埼玉県調査資料によると、どの教科書会社も同じくらいの指導時数になっている。調査員の中でそのような話題はあがったか。あがったなら、どのような内容であったか。
岡野指導主事	話題としてはあがっていない。
秋本委員	差異がないということで捉えている。
松永委員	書写は、正しい文字を美しく書けるということが大切だと考える。普段の生活の中で、他の人が見た時に、美しい字が書けていると思われることが大切だと思うが、日常生活との関わりについての工夫についてもう少し考えてもらいたい。練習の場はあると思うが、それを日常生活にどう生かしていくかという工夫がポイントと考える。
岡野指導主事	東京書籍は、「学びにいかそう」というページがある。1年生から6年生まで学習の成果が生かせるような課題になっている。1年生はできるようになったことを書く、2年生は「ありがとう」を伝える手紙、3年生は葉書で伝える活動、4年生はお礼の気持ちを手紙で伝える活動、5年生は6年生に贈る言葉、6年生は書写展覧会を開こう、という内容で学びを生かす場が示されている。教育出版は、3年生でお礼状、4年生は案内の手紙、5年生は年賀状、6年生は伝えにくいことを伝えるお願いの手紙、ということで生活に即した内容が掲載されている。光村図書は、4年生でポスターを作る活動、5年生は新聞を作る活動、6年生は委員会活動のポスターを作る活動、ということで具体的に学習活動が示されたページがある。どの教科書にも生活に即した内容が掲載されている。
遠藤委員	左利き児童への配慮について、東京書籍以外でも掲載があったか。
岡野指導主事	左利き児童への配慮については、東京書籍と光村図書が巻頭ページにおいて硯や筆の置き方について、それぞれ写真付きで掲載されている。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に社会をお願いする。社会、地図の順で進める。
【社会】	まず、社会について報告する。
小林指導主事	東京書籍 新しい社会

(加須市教委)

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てられるように工夫されている。巻末には、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」が設けられている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○単元の終わりの「生かす」というページにおいて、学習したことをふまえて社会的な事柄に参画・提案することができるように、自分たちでできることを考えたり、選択・判断したりする場面が設けられている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「SDGs わたしたちがつくる未来」をデジタルコンテンツに設け、映像などをもとに学べるようにしている。また、「SDGs について考えよう」等を掲載し、学習したことと SDGs の目標を関連付けて考えられるようにしている。

<学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫>

○「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」学習の流れについて、学習段階ごとの留意点や活動等を具体的に示し、問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。

【資料】

○写真やイラスト、表やグラフの他、ワイド版の紙面や折込ページなどを収載し、それぞれの資料に資料番号が付けられている。

【表記・表現】

○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を色分けして、各段階の学習活動が明確に示されている。

【総括】

○単元ごとに授業段階を示すことで、問題解決的な学習を促すよう工夫されている。

○全学年を通して、社会的事象の見方・考え方を意図的に働かせる問いや投げかけが設定されている。

教育出版 小学社会

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○「まとめる」ページでは、追究の帰結を「座標軸」や「ダイヤモンド・ランキング」などの「思考ツール」の手法で整理する活動を位置付けることで、学習内容の習得・定着が図れるように配慮されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「つなげる」ページでは、社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこ

れからについての「構想」など、対話的な活動例が紹介されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 「SDGs とつなげて考えよう」を全学年で取り上げ、学習内容を SDGs の視点から振り返り、これからの地域社会や暮らしのあり方について主体的に考えることができるように工夫されている。

<学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫>

- 「社会科の学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習段階が明記されており、「わくわく！社会科ガイド」では、学び方が示されている。

【資料】

- 「まなびリンク」として、二次元コードから学習内容に関する動画やクイズ、ワークシート、補足資料などを閲覧できるようになっている。

【表記・表現】

- 「次につなげよう」が設定されていることで、前時の学習と次の学習のつながりがわかりやすく、一貫した追究ができるよう工夫されている。

【総括】

- 様々な資料やデジタルコンテンツにより関心や意欲を高め、主体的に楽しく学習できるよう工夫されている。
- 「学びのてびき」「キーワード」などが多く設定され、知識・技能の定着が図れるよう工夫されている。

日本文教出版 小学社会

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- 「やってみようコーナー」では、知識や学習技能を確実に習得できるよう、学習や生活の基盤となる知識をくり返し使ったり、地図帳で調べたり、作業をしたりすることを促している。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- 「深め合い」の活動では、友達の考えを比較・関連・統合することで、多面的・多角的な思考や理解へと導き、深い学びを獲得できるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 「考えよう！SDGs コーナー」を新設し、学習内容と関連付けて、課題や解決するための取り組みを示したり、巻末付録の「SDGs 目標シール」を活用し、学習内容や考えを深めたりできるように工夫されている。

<学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫>

- 協働的な学びを「深め合い」の活動として漫画形式で例示したり、実際の活動の様子を閲覧できる二次元コードを示したりして、主体的・対話

的で深い学びができるように工夫されている。

【資料】

○資料の年次や出典等を明らかにして、見開きごとに資料番号が付けられている。

【表記・表現】

○中心資料を紙面の上部に示すことで、児童の社会的事象に対しての興味・関心や問題意識を高めるとともに、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。

【総括】

○随所に児童の発言の例示があり、学習や思考の流れをサポートするよう工夫されている。

○「さらに考えたい問題」が設定されていることで、学びに連続性が生まれ、問題解決的な学習が促されるよう工夫されている。

次に、地図について報告する。

東京書籍 新しい地図帳

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○「地図のきまり」や「地図帳の使い方」を設け、地図記号や索引、方位、縮尺地形表現等、基本的な地図の読み方が解説されている。また、各ページに距離や方位が示され、地図を正確に読み取れるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○列島広域図を利用することで、海に囲まれ、多様性に富んだ日本列島の姿を広く見渡すことができる。また、日本の100万分の1の地図には土地利用を入れて、各地の土地の姿がわかるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○自然災害や防災についての資料を提示し、地域や国土の自然災害を学ぶ際の問題解決のための教材として、効果的に活用できるように工夫されている。

<地図・資料の特徴>

○デジタルコンテンツのドローン動画では俯瞰して土地の様子を眺めたり、撮影した方向を画面下の矢印で切り替えたりできるよう工夫されている。

【資料】

○歴史の年表を記載し、歴史学習でも活用できるよう工夫されている。

【表記・表現】

○「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」のコーナーでは、地図帳の

	<p>積極的な活用を促し、楽しみながら学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○「空からまちを見てみよう」や「地図のきまり」、多様な二次元コンテンツが設定され、児童の発達段階に応じた指導が促されるよう工夫されている。</p> <p>○資料ページでは、日本の自然や産業、貿易、歴史などテーマに沿ったコーナーが設けられている。</p> <p>帝国書院 楽しく学ぶ 小学生の地図帳</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」を設け、初めて地図に触れる児童が確実に基礎を身に付けられるよう、スモールステップで解説されている。また、発達段階に配慮して地図を使い分けられるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「日本の自然災害と防災」では、過去に日本で起きた自然災害を広く挙げ、児童が自分の地域の防災について考えられるよう、防災マップ作りの手順が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○デジタルコンテンツでは、都道府県別の動画やVR画像、アニメーションによる解説を見ることができ、クイズに答えることができ、意欲的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p><地図・資料の特徴></p> <p>○「地図で世界発見!」、「地図で日本発見!」のページを設け、3年生の発達段階を意識した学習の導入となっている。</p> <p>【資料】</p> <p>○歴史の年表を記載し、歴史学習でも活用できるよう工夫されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○「地図マスターへの道」のコーナー等で、地図帳の積極的な活用を促すことで、知識・技能が身に付くよう工夫されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○「トライ!」「地図マスターへの道」などのコーナーや、デジタルコンテンツの動画など、児童が楽しく主体的に地図を使用できるよう工夫されている。</p> <p>○資料ページでは、自然、災害と防災、産業、貿易等幅広いテーマに沿ったコーナーが設けられている。</p>
小野田会長	まずは、社会科について質問、意見等あるか。

遠藤委員	SDGs について、3つの教科書の取り扱われ方の違い、特徴などはあるか。
小林指導主事	東京書籍は、デジタルコンテンツとして、インターネット上にコーナーがまとめて設定されている。外部リンクも掲載されている。教育出版は、「つなげて考えよう」で、各単元、各ページで SDGs につなげて考えられるように記載されている。日本文教出版は、SDGs 目標シールが付録として巻末についており、友達や保護者と SDGs について考えることができる「考えよう SDGs」のコーナーが設定されている。
秋本委員	これからは、ICT 端末の活用が欠かせないと思うが、どの教科書会社もそのことは記載されているということでしょうか。
小林指導主事	どの教科書会社においても、二次元コードを活用できる。また、資料を拡大したり、白地図に自由に書き込んだりして活用することもできるようになっている。
小野田会長	自主学習的な活用を想定した場合、二次元コードからの情報の質と量について、小学生が使うことを前提とした場合、キャラクターやイラストの配置についての協議はあったか。
小林指導主事	自主学習を想定した場合というのは、協議の中では出てこなかった。キャラクターについては、それぞれの教科書会社で工夫がされている。東京書籍は、親しみやすい漫画キャラクターが使われている。教育出版は車椅子に乗った女の子のイラストがある。
小野田会長	次に、地図帳について、質問、意見等あるか。
秋本委員	北埼玉地区の先生方が使いやすいといった点での差異はあったか。協議の中でそのような話題は出たか。
小林指導主事	特にはなかった。
秋本委員	いずれの地図帳も ICT 端末の活用等の工夫があるが、長年見慣れているものが使いやすいのではないかと思います、そのような話題があったかと思ったのだが、いかがか。
小林指導主事	長年使われている方が手に取りやすいのではないかと思います、雑談の中で出ていた。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に算数をお願いします。
【算数】 辻本指導主事 (加須市教委)	東京書籍 新しい算数 【内容】 ＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○学校や日常生活との関連を重視し、問題解決の内容が身近で考えやすく、これからの生活にも生かすことができる内容になっている。キャラクターの吹き出しや補助発問を丁寧に設けて、分かりやすく自力解決ができるよう工夫されている。補充問題が難易度別に2種類用意されてお

り、個別最適化された学びに活用することができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○様々な解決方法について、図や式等を用いて、分かりやすく説明している。ブロックなどの半具体物の操作や筆算の手順の説明と、式を図解した説明が対応している。数直線を多く取り上げ、数量関係を捉えやすくしている。学びが深まるようなノートの取り方も具体的に例示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「いかしてみよう」「おもしろもんだいにチャレンジ」では、発展的な問題が出題されており、既習内容をもとに考えを深めることができる。上巻の巻頭「私と算数」には、著名人の算数との関わりが掲載されており、算数の学習の重要性を伝えている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

○単元の導入で、日常生活と学習のつながりを意識させ、既習内容の復習から、新しい学習に入っていけるように工夫されている。

【資料】

○キャラクターによって問題解決のヒントが書かれている。

【表記・表現】

○板書、ノート記入のしやすい○、△、□で問題が表記されている。

【総括】

○各単元が無理なくスモールステップで進められるような構成となっており、理解が深まるよう工夫されている。また、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を基盤とした単元構成になっている。

○多くのページの下部に二次元コードが付いており、そのページの内容を復習できるよう工夫されている。

大日本図書 たのしい算数

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○学習のめあてを毎時間示しており、本時の学習内容を明確に意識しながら学習が進められるように工夫されている。巻末補充問題「プラス・ワン」や適用問題が充実している。また、リンクマークやインデックス、索引等により、既習事項を振り返りながら自分で学習を進められるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○紙面上の図や式を簡潔に示し、児童に考えを読み取る活動ができるようにしたり、テープ図や数直線図等の思考ツールのかき方を丁寧に繰り返し示したりしている。単元末の問題の最後には、単元の振り返りを書く

ことを促している。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○巻頭に「算数の大切な考え方」が掲載されていて、まとめに使ったり、後で見返して活用したりできるように工夫している。単元の最後に「算数たまたまばこ」「まなんだことを生かそう」「おうちで算数」があり、学習した内容を生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるようにしている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

○「ひらめきアイテム」によって、数学的な見方・考え方を活用しながら数学的活動に取り組み、考える楽しさが感じられるように工夫されている。

【資料】

○学習の流れが教科書の脇に書かれている。

【表記・表現】

○色分けされた単元名が紙面右上に書かれている。

【総括】

○1年生以外は年間1冊でまとめられており、具体的で丁寧な紙面構成となるよう工夫されている。1年生①巻は、教科書をフラットに開けるため、ブロックやおはじきが操作しやすいつくりになっている。

○デジタルコンテンツが豊富。多くのページの下部に二次元コードが示され、そのページの内容を補充・深化できる構成になっている。また、「プログラミングにちょうせん！」のページが全学年にある。

学校図書 みんなと学ぶ 小学校

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○単元末に「できるようになったこと」、巻末に「もっと算数」を設けて、補充的・発展的に課題に取り組むことができるように構成されている。

「ふりかえろう」では、その単元で見付けた典型的な「考え方」を振り返ることができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○既習事項をもとに子供が考えやすい構成になっている。「図や表を使って問題を考えよう」を全学年に配置し、図や表の使い方が系統的に学べるように工夫されている。「ふりかえろう つなげよう」のページでは、学習内容を発展的・統合的に捉え直し、深い学びにつなげられるようにしている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「算数をつかって」では、算数で身に付けた力を使って様々な問題に取り組む課題を扱うことで、学びに向かう力を育み、人間性をより豊かな

ものにすることができるようになっている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

○単元の導入「?を発見」のページで、子供たちの疑問を大切にしたい親しみやすい問題場面がつけられている。

【資料】

○6年生は本冊1冊と別に小冊子「中学校へのかけ橋」がある。

【表記・表現】

○問題やまとめが太字で大きく、囲みもある。

【総括】

○単元が細分化されており、学んだ知識・技能を確認・活用する中で、さらに新たな問いを提示していくなど、児童に寄り添った展開が工夫されている。

○二次元コードには、活動に応じたマークがあり、内容がわかりやすいように、配慮されている。また、プログラミング的思考について取り組めるページが設けられている。

教育出版 小学算数

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○単元導入の「きっかけ」のページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識を持って数学的活動に取り組めるように工夫されている。巻末には補充問題として「きほんの問題」「ジャンプ問題」があり、それぞれの学習進度に合わせて取り組めるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「はてな→なるほど→だったら」で問題解決の過程が示されている。特に「だったら」の「つながるミカタ」では、学びの深まりを実感しやすいつくりになっている。また、単元末の4コマ漫画で、学んだことのよさや見方・考え方を印象強く振り返ることができるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○導入「どんな学習がはじまるかな」では、児童が身近な題材から算数の問題を発見し、「学んだことを使おう」「算数ワールド」等では、学習したことを活用して日常場面の問題を解決したり、発展的に考えたりすることで、算数への興味・関心を高める工夫がされている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

○巻頭に学習の手引きとして「算数で使いたい見方・考え方」のコーナーがあり、既習の数学的な見方・考え方がまとめられている。

【資料】

○巻末に「学びの手引き」があり、単元ごとに要点を押さえ、復習に役立つように工夫されている。

【表記・表現】

○適用問題に何の確かめなのか表記されている。

【総括】

○児童の問いを重視した学習過程で学びを進め、問題発見力、問題解決力、問題追究力を育てるよう構成されている。

○二次元コードからグラフをかく学習や図形の学習で活用できる動画を見ることができる。「まとめ」には、全て二次元コードが付いている。

啓林館出版 わくわく 算数

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○巻末に2段階レベルの「もっと練習」のページが設けられ、習熟度別学習に対応できるようにしている。練習や復習のページも計画的に配置されている。学びのつながりを感じながら進められるよう、巻頭の「もくじ」や巻末の「学びをつなげよう」で既習事項とのつながりが示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○文章題を多く扱っている。また、問題によって様々な種類の図を系統的に学べるつくりになっている。巻末の「学びをつなげよう」では、前の巻までの学習事項と本冊でのつながりがまとめてあり、既習事項をいつでも確認することができるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○単元の終わりに「学びのまとめ」として、「たしかめよう」、「ふりかえろう」「学びをいかそう やってみよう」の流れで学習したことを復習し、その後活用できる発展的な問題に取り組みせ、算数への興味・関心を上げられるよう工夫されている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

○巻頭で、算数で使いたい考え方（図、演繹、類推、帰納、統合、発展）について、既習事項を例に具体的に示されている。

【資料】

○全学年の巻末に資料のページが設けられている。

【表記・表現】

○二次元コードにどんな動画が見られるか分かるコメントが書かれている。

【総括】

○既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成や、「練習」「復習」コーナーの設定で、確かな理解の定着が図れるように工夫されている。

○単元ごとのデジタルコンテンツには、授業を1時間受けているように説明している解説動画がある。

日本文教出版 小学算数

【内容】

＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞

○「次の学習のために→単元→学習をたしかに→復習」といったつながりを大切に単元構成になっている。巻末に「〇〇までに学習したこと」として既習事項が整理されており、理解を深めたり新たな学習の手助けとなったりする工夫がされている。

＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞

○図形のシミュレーションが豊富で、図形を操作することでイメージがしやすい工夫がされている。ブロックなどの半具体物の操作や筆算の手順の説明と、式を図解した説明が対応している。4～6年生の割合の問題では、数直線にしばって説明されている。

＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞

○「算数で使いたい見方・考え方」、裏面が「学び方ガイド」という、切り離して使える資料が付いており、学習の参考となる手立てが書かれている。巻末の「算数マイトライ」では、3段階の問題が掲載され、実態に応じて自分で取り組むことができるように工夫されている。

＜数学的活動を充実させるための工夫＞

○「単元アプローチ」「使ってみよう」「統計教育」「算数ジャンプ」など、日常生活と算数を繋げるページが設けられている。

【資料】

○全学年で数学的活動に使う資料が設けられている。

【表記・表現】

○次の単元に入る前に、前学年までの復習が掲載されており、どの学年の何の単元かが明記されている。

【総括】

○ページ側注の学習のステップや巻末の「学び方ガイド」、「見方・考え方」を示すことで、主体的・対話的で深い学びの実現につながる構成になっている。

○二次元コードには、「ヒントと答え」「練習」などの見出しが付いている。また、全学年で系統的にプログラミング単元が設定されている。

小野田会長	質問、意見等はあるか。
松永委員	算数は国語と違い、身に付けるべき技能が明らかである。それを身に付けたことによって次の学習につながっていく。各社ともその教科の特性に応じて必要な知識や技能が身に付く構成になっていると感じた。差があるとすれば、日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて表現する能力をどのように育てるか、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付いて進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てることができるかだが、今の説明ではそれが各社に入っていると感じた。学校や日常生活との関連を重視し、問題の内容が身近で考えやすいものである、算数と日常の場面を関連付ける、算数で学習したことをもとに日常の場面の問題を解決する等の工夫が見られる。このあたりのことで、何か話題になったか。問題自体が生活に密着しているか、あるいは、知識・技能を、問題を解決する上でどのように活用していくか、発展的な問題において日常生活と結び付けていくかというところが大切だと思うが、そのたりのことで話題になったことがあれば教えてもらいたい。
辻本指導主事	日常生活との関わりということについては、松永委員がご指摘のとおり、どの会社も押さえられているということは話題として出ていた。会社によっては、導入部分で日常生活との関わりを重視していたり、学んだ後に実際にやってみようということによって日常生活との関わりを重視していたりというところで差があるという話題が出ていた。
小野田会長	学年が進むほど、一斉指導の中で習熟度に差が生じる教科であることは間違いない。習熟の程度に合わせた少人数指導等を各学校では工夫して行っている。一単位時間において、一斉指導の中で、それぞれの教科書を比べた時に、そのあたりの工夫についてどのような協議がなされたか。早く終わってしまった子もいれば、前に戻らないといけない子もいる。少人数にして小さな集団で習熟の程度に合わせるというのが理想だが、一単位時間の一斉指導の中で、次これやってみようという子もいれば、ヒントはどこかと探す子もいる。そのような工夫について、協議があったか。
辻本指導主事	一単位時間を想定してということではなかったが、早く終わった児童については補充問題が充実している、デジタルコンテンツを活用し、その中で問題を解くことができるという話は出ていた。
小野田会長	どの教科書会社もデジタルコンテンツは充実しているのはわかる。それは教室以外でも活用できそうか。
辻本指導主事	実際に家庭でも、あるいは、1時間の学習内容がわかるような動画が入っている教科書会社もあるので、授業以外でも活用できるということになっている。
遠藤委員	日常生活につなげる算数というのは、今回から出てきたわけではない。今までの教科書と今回の教科書で何か大きな違いがあるか。

辻本指導主事	日常生活との関わりで前回との違いということで話題が出たわけではないが、導入部分で子供たちの身近な話題から入っていくことをより重視しているという話題は出ていた。
秋本委員	20採択地区の児童の実態に合わせて興味関心を高めたり、つまずきを解消したりすることが大切である。総括を見ると、啓林館のところに、スパイラルの構成や、「練習」「復習」コーナーの設定で、確かな理解の定着が図れるように工夫されていると明記されている。他のかたちで、20採択地区の子供たちの実態に合った教科書といった協議はあったか。
辻本指導主事	児童の実態に合わせてどうかという協議はなかった。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に理科をお願いする。
【理科】 野本指導主事 (加須市教委)	<p>小学校 理科について報告する。</p> <p>東京書籍 新編 新しい理科</p> <p>【内容】</p> <p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○単元末に、「ふりかえろう」と「たしかめよう」が両面の状態で掲載しており、自分で身に付けた知識・技能を確認しながら学習できるように工夫されている。「ふりかえろう」は前回には無く、「知識・技能」の観点で振り返ることができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「のぼそう！理科の力」では、「理科の見方・考え方」を働かせるヒントやキャラクターの台詞で思考や表現の例が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○単元の最初の「レッツトライ！」では、活動したり、写真や絵を見たりして、疑問を見つけ、主体的に問題がつかめるようにしている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫></p> <p>○問題解決の過程を1本の「学びのライン」でつなぎ、「一段組み」で示すことで、自然な目線の流れで読み進めることができるようにしている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫></p> <p>○「観察・実験」と「結論」は同じ見開きに示さないページ構成にし、「注目する視点」から科学的に「分析・解釈」ができるように工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○導入からたしかめようまで、各ページに二次元コードがあり、動画やデジタルノートなど活用できるようになっている。</p> <p>○巻末に「理科の調べ方を身につけよう」として、実験器具の使い方・手</p>

順が掲載されている。また、算数科とのつながりについても触れている。

【表記・表現】

- 全体の色調が緑とオレンジに統一されている。
- 人権や福祉への配慮をしたイラストや写真が使われている。
- 「まとめ」は行間が広くとられた大きな文字で、簡条書きで書かれている。
- 単元導入のページと「まとめ」では、すべての漢字に振り仮名が付いている。

【総括】

- 単元導入では、簡易的な体験や豊富な資料を示して、児童の興味・関心を高め、主体的な学習が進められるようになっている。
- 巻末に「理科とプログラミング」を設け、プログラミング的思考を育むことができるようにしている。

大日本図書 新版 たのしい理科

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- 実験・結果の後、「考えよう・考察」で話し合いをもつ場面が設定されており、その結果を「わかったこと・結論」としてまとめている。重要語句や大切なことは、結論の後方に区別して掲載している。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- キャラクターの台詞は場所によって全文掲載せず「…」とし、児童が続きを考えられるよう工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 自然を愛する心情を養えるように、「りかのたまてばこ」や「Science World」では、わかったことを身の回りの自然の様子に当てはめている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

- 「理科の学び方」を巻頭に設定し、問題解決学習の流れを色分けして示すことで、見通しをもって学習を進められるようにしている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

- 理科の見方につながる着目点を、「ココに注目」で示しており、児童自身が理科の見方を働かせて、科学的に問題を解決できるよう工夫されている。

【資料】

- 教科書下欄に二次元コードがあり、動画や「確かめよう」の答えが見られるようになっている。
- 巻末の「使い方をおぼえよう」では実験器具の使い方を示し、確実な技能の習得を図っている。また前後の学年や算数科とのつながりを取り扱

っている。

【表記・表現】

- 問題解決の過程が緑、橙、青の3色のラインでつながっている。
- 配慮が必要な場面には「注意」マークがあり、赤で枠取りされている。
- 問題文を緑、わかったことやまとめを青の背景色にしている。
- 二次元コードが全てページ下に統一して掲載されている。

【総括】

- A4版で紙面を大型化し、全単元で問題解決の全過程を示しており、流れがつかみやすく問題解決の力が自然と付くようになっている。
- 観察・実験では、実験方法を増やしてより多くの実験方法から得た結果を基に多面的に考えることができるような工夫が見られる。

学校図書 みんなと学ぶ 小学校理科

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- 「結果」をもとに考察があり、それを受けての「わかったこと」が示されている。「わかったこと」の後に、振り返りがあり、学習した知識を確認できるように工夫されている。実験・観察の部分では、背景が色付きになっていて、目を引きやすくなっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- 「問題を見つけよう」「結果から考える」では、対話の場面が多く設けられており、自分の言葉で表現することで深い理解につながるようにしている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 6年の冒頭に「環境と私たちの暮らし」を新設し、学年を通して多面的に考え、暮らしや環境という大きな視点で学習できるようにしている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

- 巻頭の「科学の芽を育てよう」では、育成を目指す「資質・能力」を「理科モンスター」として示し、楽しみながら学んでいけるようにしている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

- 「予想・計画」の場面では、対話形式でヒントを示しながらも、キャラクターの台詞を最後まで言い切らないものとし、自ら考えるよう促している。

【資料】

- 導入・実験時に二次元コードがあり、実験に使う器具や、その取り扱い方の動画が掲載されている。
- 巻末に実験器具の使い方が示されている。また、「大事な言葉」の索引ページが掲載されている。

【表記・表現】

- 育成を目指す「資質・能力」を「理科モンスター」として示している。
- 「注意」マークのある場面では、肯定的な言葉の表現を用いている。
- 確認しやすいように「チェックボックス」が多く設けられている。
- 「問題」「観察」「実験」「わかったこと」等は青色で統一されている。

【総括】

- 目指す資質・能力を「理科モンスター」として示し、キャラクターに親しみながら楽しんで理科の学びが進められるようになっている。
- 学んだことを単元の中で完結させず、考え方をちがう場面でも生かせるように「学びを生かす」などの表記でわかりやすく示す工夫が見られる。

教育出版 未来をひらく 小学理科

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- 「ふり返ろう」と「確かめよう」が見開きで示されている。「ふり返ろう」では、重要語句がマーカーで色付けされ、目にとまりやすい工夫がされ、知識の定着につながるようになっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- 「結果から考えよう」では、結果をもとに、児童が自分の予想が確かめられたかを考える場面が設定されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- 自然を愛する心情を養えるように、巻末の「ミニずかん」では、科学のことやSDGsについて触れている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

- 巻頭の「学習の進め方」では、その学年で主に育成する問題解決の力として、「〇年のチカラ」を設定し、確実に身に付くようになっている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

- 予想や計画の場面では、「見方のカギ」や「考え方のカギ」を対話形式で示しており、多様な考え方を引き出す支援をしている。

【資料】

- 観察・実験の解説動画や、実験器具の使い方の動画が二次元コードから見られるようになっている。
- 巻末の「使い方・調べ方」で実験器具の使い方を示している。また、「わかったことは何か？」で、重要語句をまとめて示している。

【表記・表現】

- 「問題」「観察・実験」「結論」が同じ色で統一されている。
- 重要な用語は太字で書かれていたり、マーカー処理されていたりする。
- 「注意」「危険」の2種類のマークで注意喚起している。

○二次元コードの位置がページ端に統一されている。

【総括】

○問題解決の流れがわかりやすく、児童が自分の考えをもち、互いに対話することにより見通してもって学ぶことができるようになっている。

○単元末に新設された「ふり返ろう」では学んだことを簡潔にまとめてあり、学習後に児童が自分で復習するなど、次の学びにつながる工夫がみられる。

啓林館出版 わくわく理科

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○単元末には、「まとめノート」と「たしかめよう」が示され、振り返りながら知識と技能の確実な定着を図っている。また、「まとめノート」の下欄には、「新しく学習した言葉」がチェック欄つきで掲載しており、重要語句の確かめができるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「見方・考え方」を働かせるポイントとなる言葉は緑のマーカーが引いてあり、思考の助けとなっている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○自然を愛する心情を養うように SDGs や STEAM の説明、「自然を大切に」マークなどにより、理科を学ぶ意義・有用性を伝えている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

○学びの中で ICT を活用する場面を多く設定しており、導入や観察・実験で、児童が発想するためのヒントとなる映像・資料が多くある。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

○「考察しよう」では、対話的・協働的な活動を充実させることで、納得解を導き出し、科学的な解決へと結び付ける工夫がされている。

【資料】

○巻末の「わくわく CBT チャレンジ」では、タブレットで解く問題があり、CBT 化への対応がなされている。また、「ものづくり広場」では、身近なもので実験道具を作る方法が載っている。

○実験器具等の使い方は、「実験」の中に含まれている。

【表記・表現】

○白を基調とした紙面で、文字や写真がはっきり見えるよう工夫されている。

○マークは文字入りで見やすくわかりやすいものとしている。

○イラストや写真は、人権や福祉に配慮している。

○「問題」「まとめ」等の表記はメインカラーを設定している。

【総括】

- 話し合いの活動では、キャラクターの吹き出しに見方・考え方マーカ―が引かれ、主体的に理科の見方・考え方を働かせることを支援している。
- 学んだことがくらしにつながる「くらしとリンク」を全単元末で掲載し、日常生活に関連した話題を多数掲載して、理科を楽しく学べる工夫がみられる。

見本本がない教科書会社があったため、県の調査報告書をもとに報告する。

信州教育出版 楽しい理科

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- 観察・実験では、準備物と手順が写真や言葉を用いて示されている。また、実験の手順のページに実験で扱う器具の使い方が一緒に掲載されており、確認できるように配慮されている。さらに、単元末の「ふりかえろう」では、学習内容が振り返ることができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- 「理科の学習の進め方」では、見通しをもって観察・実験ができるように問題解決の過程を図に表して記載されている。「結果」では、学年の発達段階に応じて、理科的な用語を使いながら図やグラフ、表などを用いて実験結果や観察記録の記述例が示されており、児童の表現力を育成できるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- あらゆる生物が生きる上で、自然界の循環や連鎖が大きく影響している事実を、意識が向くように配慮している。気付きや疑問、考えのヒントを吹き出しで示し、児童が主体的に問題解決できるように工夫されている。単元冒頭には事象提示から問題意識を呼び起こすようなリード文を置き、既習学習や生活経験の想起の場が設定されている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

- 「理科の学習の進め方」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞が、理科の見方・考え方をどのように働かせるか理解しやすいように工夫されている。実験の様子が大きな写真で示され、実験方法がよくわかるように配慮されている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

- 問題解決の過程に沿った構成になるように工夫されている。また、キャラクターの台詞や会話が問題解決における理科の見方・考え方のヒント

	<p>になっており、児童が問題を科学的に解決できるように工夫されている。「見つけよう、ふしぎなぜ」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○単元冒頭にはダイナミックな写真と学習の概要を示したリード文があり、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○発展的な内容の記述があり、学習した内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中でQR コードによる参考情報が活用できるように工夫されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○「問題」や「観察」等のマークを白い下地にし、字形が判別しやすいように工夫されている。</p> <p>○色覚の多様性を考慮し、CUD の観点から識別しやすい配色やデザインを用いている。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくなるように工夫されている。</p> <p>○当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。</p> <p>【総括】</p> <p>○巻頭で「1年間の学習」や「理科の学習の進め方」を示し、季節と関連付けた学習や問題解決の過程のつながりを意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、赤で「注意」のマークを配置し、注意を促している。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
遠藤委員	理科は動画などを活用することが多い教科かと思うが、動画の時間や内容について、違いはあるか。
野本指導主事	動画については、器具の使い方、実験のやり方などがある。NHK for school ともリンクしていて、短時間で学習内容が確認できるものがある。
松永委員	理科の教科書は昔と比べて楽しくなったという印象である。見ていてワクワク、ドキドキする。キャラクターが使われているなど様々な工夫がされている。表記・表現のところで、配慮が必要な場面に注意マークがあり、赤で記載されているなど、配慮が必要なところや危険なものについては表記されているということと、それが書かれていないところがあるが、す

	べての教科書において表記されているということでのよいのか。
野本指導主事	実験の際の注意や危険な場面については、各社記号は異なるが、表記がある。
高瀬委員	ほとんどの会社で文字を大きくするなどの工夫をされていると思うが、人権や福祉に配慮したイラストというのが2社あったが、この2社についてはどのような工夫があったのか。
野本指導主事	人権や福祉に配慮したイラストというのは、障がいをもった子供のイラストが出てきたり、外国の子供が出てきたりといったところで多様性を扱っているということになります。
小野田会長	すべての教科書会社に入っているか。
野本指導主事	外国の子供が出てくるとするのは全部ではない。
小野田会長	理科は本物を見せられればそれに越したことはないが、特に大単元の導入の際に、なかなか日常生活では難しい教材がある。デジタルコンテンツは、どの会社も 300～500 と充実しているが、単元の導入で力を入れている教科書があれば教えてもらいたい。また、CBT への対応をしているという表記があるが、そのことについて詳しく説明してもらいたい。
野本指導主事	まず、単元の導入で使用できる動画については、NHK のサイトとのリンクや、実験のやり方が多かったが、インタビュー動画を取り扱っている会社やウェブ図鑑を取り扱っている会社もあった。そのようなもので興味関心を引くことができると考える。CBT については、その言葉自体が出てきている会社は一社で、それ以外にもデジタルコンテンツの中で問題を扱っている会社もある。タブレットを使用して問題を解くことに慣れるということにつながっていくと考える。
小野田会長	単元の評価として、CBT が AI 採点のようなものを行っているわけではないのか。
野本指導主事	答え合わせができるようにはなっている。記号で選んで解答するかたちになっている。
小野田会長	それは、単元評価というよりは、子供たちが CBT に慣れるためのコンテンツという意味か。
野本指導主事	そうである。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に生活をお願いします。
【生活】 辻本指導主事 (加須市教委)	東京書籍 新編 新しい 生活 【内容】 <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○無自覚だった気付きが自覚化される児童の姿やその気付きが相互に関連づく児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示

されている。「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」は、学習活動や生活に即した習慣や技能を身に付けるのに役立つように示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○イラスト比較ができるページの構成になっており、「見付ける」「比べる」「たとえる」など、気付いたことを基に分析的に考えるための多様な学習活動例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○思いや願いの実現に向けて粘り強く取り組む様子や状況に応じて学習の調整をしている様子、活動を繰り返し自身の成長や満足感、成就感などの手応えを次の活動や生活に生かそうとしている児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

○気づいたことを基に考えるヒントをまとめた「やってみよう考えよう」と「やってみようくふうしよう」が下巻末に設けられている。

【資料】

○「ほんとうのおおきさいきものずかん」では、本物と同じ大きさと詳しく描かれているため、実物と照らし合わせて観察することができる。

【表記・表現】

○「小単元名」「本文」「やくそく」「ずかん」などの位置が全ての単元で同位置に配置され、全ての児童が安心感をもって授業が受けられるように配慮されている。

【総括】

○各小単元の「本文」と「マーク（!知・技、?思・判・表、♡主体的）」でその見開きの学習で主に育成を目指す資質・能力が明示されている。

○「つながる」で他教科との関連が児童の姿や言葉で具体的に示されている。

○デジタルコンテンツが大幅に拡充され児童の興味・関心や学習意欲を喚起し学びを深める工夫がされている。

○SDGs の取り扱い方について edutown 小学生向け特設ウェブサイトがあり、学びを広げる工夫がされている。

大日本図書 新版 たのしいせいかつ

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○「がくしゅうどうぐばこ」には、活動や体験の方法などが紙面及び動画で紹介されており、視覚的に捉えやすく、知識・技能の習得が図れるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「せいかつことば」「キラキラことば」では、児童の思いや考え、気付きを表現する言葉が紹介され、「○○めいじん」では、交流・発表活動において児童の言語能力の育成が図れるよう工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○単元のつなぎ部分では、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながるよう工夫されている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

○観察カードには、目・耳・鼻・手・星のマークが示され、児童に視点を与え、気付きの質を高める工夫がされている。また、「がくしゅうどうぐばこ」では、観察の視点（離れて見る、聞く、かぐ、さわる、並べる、自分と比べる、表と裏で比べる等）を示している。

【資料】

○「ウェブがくしゅうどうぐばこ」には、生き物や草花などのイラストに加え海外の文化に関する写真や実際に動いている生き物の動画も見ることができる。

【表記・表現】

○入学直後の児童にも無理のない振り返りができるよう、「きもちマーク」の欄を設け、活動を通しての満足度、心の動きを表現できるようになっている。

【総括】

○自分なりのめあてや振り返りを書き込む欄があり、自分の思いを確認しながら活動を進められるようになっている。

○他教科との関連が矢印によって明記されていて、横のつながりを意識した指導が可能になるように工夫されている。

○学び方名人を新設し、具体的な活動の様子が例示されている。

○下巻では、SDGs と具体的な取組を写真と言葉で分かりやすく紹介されている。

学校図書 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○各単元において生活上必要な習慣や技能を「やくそく」「ものしりノート」などのコーナーとして示し、活動や体験の中で身に付けることができるよう工夫されている。二次元コードで活動の映像資料などの具体的な活動や体験の方法が示され、方法や手順が視覚的に理解できるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○キャラクター同士の会話や活動写真、季節の変化に気付けるようなイラストなどから児童自ら気付かせていくことに配慮されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○単元末に「もっと」のページを配置し、単元が終わった後も学んだことを生かして、さらなる活動・課題に広げたり、自身の生活につなげたり、意欲的に活動を持続、発展できるようにしている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

○「生活科学び方図鑑」や「ものしりノート」では、「さわる」「たどる」「くらべる」「よくみる」「においをかぐ」「おとをきく」など、体験を通じた気付きの視点を具体的に示している。

【資料】

○「ものしりノート」にイラストで詳しく書かれていたり、二次元コードで活動の手助けとなる資料と「〇〇の遊び方・作り方・使い方」等を動画で視聴することができたり、児童がイメージしやすい工夫がされている。

【表記・表現】

○「見る」「さわる」「たどる」「くらべる」「よそうする」といった働きかけるポイントをキャラクターのつぶやきとして示すことで思考を促す工夫をしている。また、観察の際の気持ちも書けるよう例示されている。

【総括】

○上下巻を通して4人のキャラクターを登場させ、つぶやきや作品カードで具体的な例を挙げ一緒に成長していく道筋が見えるようになっている。

○単元では、「もっと～したい」のコーナーで、多様な表現方法をまとめることを例示し、児童の意欲を引き出し、単元が終わった後も活動が広がるよう構成されている。

○児童の興味関心を高める写真・資料が豊富である。

○生活科の活動の中で、道徳の関連を意識し考えられるように配慮されている。

教育出版 せいかつ

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○「やくそく」などのコラムや各小単元に生活科で身に付けたい知識や技能の習得を促す「まなびのポケット」の項目番号が示され、巻末の「まなびのポケット」を確認することで他教科とのつながりや表現や技能が広がるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○単元末の「なにをかんだかな」では、気付いたことや考えたことなどについて多様な表現活動が示され、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○児童に人気のキャラクター「いぐら」が学習の友達として、児童の代表として素直な驚き、喜び、困惑をつぶやき、「はっけんロード」をたどって、「はてな」「かんがえまとめいろ」「ぐんぐんはしご」を通して学び方を身に付けて一緒に学習を進めていくことができるようになっていく。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

○「わくわくすいっち」では、今の自分の興味・関心がどこにあるのかを自覚することで、目的意識がもてるようにしている。

【資料】

○「まなびリンク」の二次元コードが「動画」「ワークシート」「ずかん」に一目見て分かるように分類されている工夫があり、授業内でも活用しやすいように工夫されている。

【表記・表現】

○小単元の学習のめあてをつかめるように各単元に「サイコロ」マークで身に付ける資質・能力を示している。

【総括】

○動画・ワークシート・デジタル図鑑が充実していて、「はってん」コラムと特設ページで中学年以降の理科、社会につなげる工夫がされている。

○コラムの「やくそく」では知識や技能、マナーを示し、各単元のコラム「ヒント」で「見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫する」などの多様な学習方法を繰り返し行えるような工夫がされている。

○児童の発達段階に応じて二次元コードの位置が同位置に提示されている。

○下巻にはSDGs関連のページにSDGsマークが付いていて児童の意識を高める工夫がされている。

光村図書 せいかつ たんけんたい

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○別冊「ひろがる せいかつ じてん」では、日常生活に必要な習慣や技能、活動の仕方や作り方等がまとめられていて、児童が自発的に確認しやすく工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「見付ける、比べる、たとえば」などの学習活動で分析的に考えたり、「試す、見通す、工夫する」などの学習活動で創造的に考えたりしている児童の様子が写真や作例で豊富に示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○単元末の「たのしいまいにちにつなげよう」で、活動を振り返り自分の言葉で表現することによって、学んだことを日常生活に生かそうとする態度につなげている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

○単元末の振り返りページでは、学びを言語化し、個人でまとめることで気付きを自覚したり、関連付けたり、捉え直したりしている児童の姿が具体的に示されている。

【資料】

○別冊「ひろがるせいかつてん」が切り離しでき、児童が自分の目的に応じて活用できる。また、「きせつのなかまたち」では、外へ持ち運びできるようになっている。生き物や草花の実物と照らし合わせて観察することができるように工夫されている。

【表記・表現】

○小単元は見開き完結の構成になっていて、学習展開がひと目でわかるようになっていて、学習展開ごとに児童の写真をダイナミックに数多く配置し、活動への思いや願いをもてるようになっている。

【総括】

○絵本作家の書下ろしイラストが小単元ごと右側に掲載され、イラストの児童とともに考え、気付きの視点が広がるようストーリー展開されている。

○ICT機器を効果的に活用できるように、ICT機器を活用し活動する場面の児童の様子が写真で提示されている。

○付箋を使った情報整理のしかたなど、低学年の児童でも活用できる思考ツール等の活用例が提示されている。

○全ての小単元末の「ふりかえろう」で「感情」と「知識・思考・態度」の観点を手がかりに表現することで、次の学びにつながる工夫がされている。

啓林館 わくわく せいかつ

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○「がくしゅうずかん」には、調べ方・記録の仕方・まとめ方、道具や用具の使い方、安全上の注意などが示されていて基本的な知識及び技能や

学び方が身に付くように工夫されている。

＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞

○生活の中からの気づきを刺激する「わくわく」、もっと知りたい・調べてみたいと深める「いきいき」、自分でやってみる・表現してみる「ぐんぐん」の3段階で構成され、思いや願いの実現に向けて繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深めていけるように工夫されている。

＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞

○「めくり言葉」では、活動から生まれた気づきや次の活動への思いや願いを示している。また、単元末の「ひろがるきもち」では、学習を通して学んだことをさらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を提示している。

＜具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫＞

○「見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫する」などの気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例が学びのキーワードとしてマークで豊富に示されている。

【資料】

○二次元コードから学習活動の例やワークシートをダウンロードできるようになっている。また、デジタルコンテンツとして「学びウェブ」「デジタルたんけんブック」が収録されている。

【表記・表現】

○教科書全体を通して、小単元名、活動の見出し、活動の仕方や様子、学びのヒント、具体的な記録カードの例、「めくり言葉」などの構成、位置を固定化し、全ての児童に分かりやすい紙面になっている。

【総括】

○教室環境と具体的な支援の手立てと評価がイメージしやすくなっていて教師をサポートする工夫が充実している。

○3段階構成の紙面から単元全体の流れがわかりやすく示されている。

○二次元コードの数が増え、特設サイト「わくわく SDGs」がコンテンツとして用意され17項目すべての解説がある。

○単元の振り返りにおいて、資質・能力の3つの柱の視点で、具体的な児童の姿が見える化されている。

信州教育出版 せいかつ

【内容】

＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞

○生活の中で注意することや大切なことは、マークや絵を使って示されている。地域の特色や実際の行事の写真・絵を掲載し、短い言葉を使いながら生活上必要な習慣や技能が習得できるように工夫されている。

	<p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○活動の様子が、地域性を生かした場所や行事など、児童にとって身近に感じられる写真で示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○地域に根差した人・もの・ことと、直接関わったり触れ合ったりすることで、ふるさとへの愛着を深められるように構成が工夫されている。また、体験や活動を写真や挿絵で多様に示し、より深い学びや活動につながるように工夫されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○各単元の扉ページいっばいに単元を象徴する写真や挿絵を掲載し、活動への期待感を高めるように工夫されている。動物や植物との継続的な関わりの中で生じる課題を乗り越えることで、命の大切さに気付けるように工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○二次元コードでは、動植物の写真を見ることができる。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○縦書き・右開きで構成されている。また、体験や活動の質が高まるよう、児童の言葉を吹き出しや対話、詩、作文などで表現している。</p> <p>【総括】</p> <p>○地域に生まれ、地域に育つ児童が、四季を通して人やもの、その場所に関わることを重視した内容構成となるように工夫されている。</p> <p>○「家庭に始まり家庭に帰る」ことを学びのコンセプトとして位置付け、家庭・地域と共に育てる生活科の実践を目指すように工夫されている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
松永委員	生活科の教科書の活用の仕方の特徴として、生活科自体が具体的な活動や体験をとおして、学んでいくものであるため、教室で教科書を開きながら学んでいくものではないという面がある。活動を誘発したり、意欲をもたせたり、活動の中にどのようなポイントを置くかを、教科書をとおしながら子供たちに受け止めさせることが大切である。学校の実態に応じて、指導計画を作成していくものであるが、埼玉の実態を踏まえるという視点での議論があったか。また、国語や音楽、図工などの他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めることについて協議があったのか。
辻本指導主事	埼玉の実態を踏まえた協議はなかった。他教科との関連については、どの教科書会社も他教科との関連は含まれている。3年生から始まる理科や社会との関連が重要になるといった話が出ていた。
小野田会長	生活科において教科書は使うという話が先ほどもあった。教員が使うというよりは、子供が使うということになるが、一社教科書に直接書き込むことができる。実際にワークシート的な取扱いとしての特徴はあるか。教

	科書に書き込むことについての協議はあったか。
辻本指導主事	実際に一社は教科書に書き込むことができるが、教科書への書き込みについては特に話題としては上がらなかった。
秋本委員	感想ですが、どの教科書会社も工夫しているという印象をもった。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に音楽をお願いします。
辻指導主事 (羽生市教委)	<p>小学校 音楽について報告する。</p> <p>教育出版 小学音楽 音楽のおくりもの</p> <p>【内容】</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○領域・分野ごとの系統性に基づいた教材が配置され、見開きごとに「学習のめあて」や音楽を形づくっている要素「音楽のもと」が示され、学習の振り返りや資料へのリンクを示すアイコンも適宜設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学び方を示唆する「まなびナビ」、学ぶためのヒントやプロセスを示した「学び合う音楽」では、見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」や1年間の学習を振り返ることができる『「音楽のもと」まとめ』が掲載されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○音楽づくり「音のスケッチ」では、文字やイラスト、活動例を示し、他の教材と関連させながら児童が思いや意図を生かして音楽をつくることができるように工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○二次元コード「まなびリンク」が示され、WEB上に奏法や解説動画・音源・ワークシート・解説資料などが掲載されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○表現教材や鑑賞教材では、線や図形などを楽譜に見立てて表現できるような譜例が掲載されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○歌唱共通教材は、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるよう「につぼんのうた みんなのうた」コーナーに配置され、写真や資料から曲の背景を知る手がかりとなるよう工夫されている。</p> <p>○学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、色覚等への特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウトにしたり、特別支援教育の視点に立った</p>

配慮がされている。

教育芸術社 小学生の音楽

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○見開きごとに「題材のねらい」「学習目標」「活動文」音楽を形づくっている要素、題材の最後のページに「学習のまとめ」を掲載し、どのような活動を通して何を学ぶのか、次の学習につなげられるよう配慮されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○児童の作品例やワークシート例、会話例等、思いや意図をもって表現したり、音楽や演奏のよさを味わって聴いたりするための情報が示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」や1年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」が設けられている。

<生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫>

○「音楽づくり」では、アイコンや吹き出しで学習の手順や工夫のポイントを示し、題材内の他の教材と関連させ学びをつなげている。音や音楽への興味・関心が音楽科の学習につながるようなコラムや写真も掲載されている。

【資料】

○学習サポートのコンテンツ「ムーブの部屋」では、「聴く」「見る」2つの活動を紙面上の二次元コードから ICT 機器で閲覧できるようになっている。

【表記・表現】

○表現教材や鑑賞教材では、児童の学習段階に応じて絵譜や図形楽譜など、いろいろな種類の譜例が掲載されている。

【総括】

○歌唱共通教材「こころのうた」は、歌詞や曲が生まれた背景が示され、我が国の文化や自然環境の保護などの視点からコラムや写真などが用意されており、生活や社会との関りを捉えやすくなるように工夫されている。

○楽譜や縦書きの歌詞、文章を写真中に入れる際、無地や単色の部分に配置したり、文字周辺を白くしたりして文字の見やすさが配慮されている。学習に必要な情報に注目できるようイラストや写真の配置も工夫されている。

小野田会長	質問、意見等はあるか。
秋本委員	教育出版「音楽のおくりもの」の総括にあるにつぼんのうた、みんなのうたにある曲について、歌い継がれていきたいと感じた。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に図画工作をお願いします。
石原指導主事 (羽生市教委)	<p>小学校 図画工作について報告する。</p> <p>開隆堂出版 図画工作</p> <p>【内容】</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○題材ごとに表現のヒントとなる写真や説明が散りばめられ、必要な情報について、ページ下のマークで学習活動に関する注釈を入れたり、他ページやPC端末を参照したりするようガイドが示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○題材の冒頭に題材の目標を提示して発想を促すとともに、巻末資料で材料・用具・技法を例示し、その扱い方・ポイントなど、情報を取捨選択・工夫して表現できるよう配慮されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○社会に開かれた教育課程を意識し、学習活動が人々の生活に結びつく様子を示し、図画工作から社会への意識の広がりを促すよう工夫されている。</p> <p><表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫></p> <p>○「共通事項」の指導に配慮し、二次元コードから動画を参照し、色や形などのイメージを膨らませ、製作に生かす手法が見られる。</p> <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫></p> <p>○「安全」専用の吹き出しがあり、用具を使う際、作品が完成して皆で遊ぶ際の注意喚起が明示されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○PC端末の情報が一覧で整理され、知りたい情報が呼び出しやすく、検索しやすいよう工夫されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○各ページの中に枠で囲ったコーナーを多く設け、学習のポイントやヒントとなる記述や図版を示して学習活動が促進されるよう工夫されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○体裁はA4判で、紙質は耐水性のある光沢紙が使用されている。</p> <p>○題材ごとに冒頭で学習の目当てを明示し、重要部分は太字で強調してい</p>

る。題材の導入で示す流れで作成されている。

○巻頭付近に折込のガイダンス資料、巻末には鑑賞、技法、用具・材料の資料コーナーが位置付けられている。

○作品例の写真は大きく、見やすさに配慮したレイアウトになっている。題材の中に異なった作風の作品例を複数掲載し、児童個々の発想を助ける構成となっている。

○児童の活動の様子を示す写真や色つきの吹き出し、学習を促す言葉かけ・問いかけがあり、児童に見通しをもたせ、主体的に取り組めるよう工夫されている。

日本文教出版 図画工作

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○題材ごとに表現のヒントとなる写真や説明が多く散りばめられ、必要な材料・用具類はマーク、参考ページは吹き出しで見開きページ下・左に、学習活動に関する具体的なガイドを右に示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○題材の冒頭に題材の目標を提示して発想を促すとともに、随所に吹き出しでヒントを与え、巻末資料で材料・用具・技法の扱い方を示し、必要な情報を選択・工夫して表現できるよう配慮されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○社会に開かれた教育課程を意識し、環境に配慮した作品や取組を多く掲載し、図画工作が社会に果たす役割を考えるよう促している。

<表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫>

○「共通事項」の指導に配慮し、見開き2ページをフルに使用して様々な色・形を駆使した製作の様子や作品を数多く例示されている。

<用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫>

○「気をつけよう」という吹き出しがあり、作品製作時、特に用具の使い方についての注意喚起が示されている。

【資料】

○PC端末の情報は動画に人物を登場させて演じさせるなど、アクティブにつくられている。

【表記・表現】

○マーク、イラスト、吹き出しを駆使して、学習のめあて、学習のヒントなど、視覚的に分かりやすく、かつ、多くの情報が提示・掲載されている。

【総括】

	<p>○体裁はA4判で、紙質は耐水性のある光沢紙が使用されている。</p> <p>○題材ごとに冒頭で目標を明示し、重要部分は下線で強調されている。児童の活動場面の写真が多く掲載されている。参考作品数が多く、写真はやや小さめでレイアウトされている。</p> <p>○巻頭には折込のガイダンス資料、巻末には材料・技法の資料集が位置付けられている。</p> <p>○中学校・美術や生涯学習との関わりのあるコーナーを設け、教科の系統性・発展性をもたせている。</p> <p>○マーク（用具や材料）やイラスト（学習のヒント）を駆使して児童の主体的な学習をガイドする働きをもたせている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
松永委員	感想であるが、どちらの教科書も、児童個々の創作意欲を高める工夫があると感じた。材料や用具の取扱いも明確に示されている。図画工作は教師にとって、個に応じた活動を保証するという面において負担の大きい教科書であると思うが、教科書を使うことで教師が指導しやすいと感じるような工夫が見られる。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
小野田会長	児童の作品や専門家の作品など、たくさんの参考作品が教科書に掲載されている。調査研究の中で、参考作品の質についてどのような話題があったのか。
石原指導主事	そのような話題はかなり出ていた。開隆堂は、作品が大きく掲載され参考にしやすいこと、また、作品を制作しているときの思いが吹き出しで書かれていることから、発想の参考になるという意見が多く出ていた。日本文教出版では、参考作品数がかかなり多く提示されており、レベルの高い作品も掲載されていることから、発想のヒントになるという意見が出ていた。
小野田会長	どちらも甲乙つけがたく、調査研究において当然議論になっていると思う。報告書にも記載され、参考になる。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
遠藤委員	図画工作は正解のない教科書であり、子供たちの心の中に眠っているものをどう発揮させていくかが重要であると考えます。小さい頃から本物を見せていくことは大事なことであり、これらの教科書はいろいろなものが掲載され、どの子にも刺激になる。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	（質問等なし）
小野田会長	次に家庭をお願いします。
【家庭】 瀬高指導主事	小学校 家庭について報告する。 東京書籍 新編 新しい家庭

(加須市教委)

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○単元の導入で身の回りや身近な事例について話し合う活動が設定されており、自分の生活を振り返ることにより、課題が明確になる工夫がされている。

<思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫>

○「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「調べよう」「深めよう」などの活動が設定されており、自分の考えをもつとともに、友達と学び合いながら学習を進めていけるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○実習するだけで終わらせないように、自分の思いや気付きを表現し、伝え合うような活動が取り上げられ、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。

<実践的・体験的な活動の工夫>

○実践につなげるために、すべての調理実習・製作実習の動画が準備されている。

【資料】

○実習例に押さえるべきポイントを、キャラクターが吹き出しで示しており、実践しやすい工夫がされている。

【表記・表現】

○環境マークが示され、SDGsにつながる内容について、児童が自ら考えられるように工夫されている。

【総括】

○「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「調べよう」「深めよう」などの活動をとおり、主体的・対話的な学習を進めていけるように工夫されている。

○製作品、実習、観察・実験などの例示数が多く、児童の学習意欲の喚起および学習内容を生かす実践意欲の向上につながる工夫がある。

開隆堂出版 わたしたちの家庭科

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○学習の流れが把握できるようにするため、各単元の初めに、学習のめあてが明示されている。調理の単元では、調理の流れが写真で示されている。

<思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫>

○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という流れで単元の学習が構成されており、自分ごととして学び、友達と学び合い

	<p>ながら学習を進めていけるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「生活に生かそう」というコーナーが各題材の終末にあり、それを記入することで、学習したことを生かして生活をよりよくしようとする態度を養うことができるように工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <p>○「生かす・深める」では、家庭生活での実践例が多く紹介されている。また、学んだことを生活に生かすことができるように、考えを記入できるようになっている。</p> <p>【資料】</p> <p>○巻末のページでは、プログラミングや実践に役立つワンポイントや原寸大で野菜の切り方の目安が表示されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○他の題材と関連する点には「関連マーク」や参照ページを示し、学習の見通しをもつ場面が設けられるように工夫されている。</p> <p>【総括】</p> <p>○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という流れで単元が構成されており、課題に対して見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>○実習等で写真やイラストが効果的に活用されており、手順や道具を目で見て確認することができる。様々な発達特性に配慮され、誰にでも分かりやすい構成となっている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
遠藤委員	プロの方へのインタビューなどが掲載されており、興味深く拝見した。子供たちは、大人の話をも素直に読んで理解することができると感じた。中学校へのつながりを感じられる部分、表記は、2つの教科書であったか。
瀬高指導主事	それぞれの単元の中に中学校とのつながりといったマークが付いており、中学校で学習する内容がイメージしやすいようにキャラクター等の吹き出しもある。その他、中学校で学習する内容、目次につながるようなページもある。
小野田会長	家庭科は専科になりつつあるが、単学級が多いこの地域だと基本的には担任が教えている例が多い。そのような中で、初任者も多くなっている。これまで教科書の選定は、学ぶ側である子供たちの目線で選ばなければならないというのは大前提として、教える側の教員目線で教えやすいといったような協議はあったか。
瀬高指導主事	2社ともにそのような内容の活発な協議があった。二次元コードについては、積極的に活用したいという意見が多く出た。
小野田会長	説明よりも見せてからの方が指導しやすいということか。

瀬高指導主事	確かにそれも一つあるが、自分が子供に教えるといった意味での動画を見てまずは学ぶといった点でわかりやすいという意見も多くあった。
小野田会長	初めて教える初任者がいた場合は、デジタルコンテンツを見てから、予備調理や予備実験をしてから授業をした方がイメージしやすいとか。
瀬高指導主事	その通りである。
小野田会長	そういう点で2社ともにデジタルコンテンツは充実しているのか。
瀬高指導主事	ボタンの付け方や皮のむき方等掲載されているものは違うが、活用できるといった意見は多く出ていた。
小野田会長	教員目線でもデジタルコンテンツはとても有効であるということか。
瀬高指導主事	はい。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に保健をお願いします。
【保健】 秋山指導主事 (加須市教委)	東京書籍 新編 新しい保健 【内容】 <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○本時で習得した知識を「ステップ4 まとめる・生かす」で復習することができ、知識の定着を図ることができるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「ステップ3 深める、伝える」では、本時で学んだ知識を活用し、自分の言葉で表現でき、また、ペアやグループでの話し合いもしやすく表現力を育成できるように工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○毎時同じ流れで、学習の進め方が明確に例示されているため、見通しをもち、主体的に学習できるように工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○「豆知識」で児童の理解をさらに深めたり、「実習」で実践する中で体験的に理解を深めたりできるように工夫されている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○「資料」という項目を設定し、地域や家庭とのつながり、発展的な学習や知識等を示し、学習を深められるように工夫されている。 【資料】 ○デジタルコンテンツの内容は、各章の動画やシミュレーション、図鑑等があり、教師が示すだけでなく児童が学習のまとめの際に資料として活用しやすいように工夫されている。 【表記・表現】 ○高学年の教科書には、「不安や悩みがある時の相談窓口」が記載された。

児童の人権等への配慮がされている。

【総括】

- 学習の最後に学んだ知識をアウトプットできるように工夫されている。
- 単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりして押さえるポイントが明確になるように工夫されている。
- SDGs や新型コロナウイルス、LGBTQ 等の内容も記載されており、児童が現代の諸課題について考えられるように工夫されている。

大日本図書 たのしい保健

【内容】

＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞

- 習得すべき知識・技能について、イラストや写真で解説があり、見やすくなるように工夫されている。

＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞

- 毎時の「話し合おう」の場面では、文章や言葉で表現する機会が必ず設けられるように工夫されている。

＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞

- 各単元の末に「〇年のまとめ」の「ふり返ろう」「明日へつなごう」を活用し、実生活を振り返り、つなげていくことができるように工夫されている。

＜健康・安全についての理解を深めるための工夫＞

- 写真や絵、グラフを多く活用することで、児童が思考しやすくなるよう工夫されている。二次元コードを読み込むことで、写真が動画になる場面もあり、さらに理解しやすいように工夫されている。

＜生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫＞

- 単元の最後のページでは、「もっと知りたい！」というコーナーを設定し、中学校で学習する内容とのつながりを学ぶことができ、児童の資質・能力をさらに育成できるように工夫されている。

【資料】

- 二次元コードから、児童の意欲喚起につなげるための単元の導入における「学習ゲーム」や、学習に関連する資料などを活用することができる工夫がされている。

【表記・表現】

- 基本的に1単位時間が見開き1ページになっているとともに、A4判になったことで、児童にとって見やすくなるように工夫されている。

【総括】

- 「ここで学ぶこと」に学習課題が表記されており、児童がめあてを意識しやすく主体的に学習できるように工夫されている。

○新しい語句の知識や補足説明があり、理解を深められるように工夫されている。

○SDGs や新型コロナウイルス、LGBTQ 等の内容も記載されており、児童が現代の諸課題について考えられるように工夫されている。

大修館書店 新 小学校保健

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○本文が簡潔で、重要語句が太字になっていて、「解説」で学習上必要な語句の詳しい説明があり、知識・技能が習得しやすいように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○導入で身近なものから健康課題に目を向けさせ、「課題をつかもう」で保健の見方や考え方を働かせて思考できるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「学習をふり返ってみよう」で、本時で学んだことを活用し、未来の自分に生かすことができる学習過程になるように工夫されている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

○資料や事例を多く使い、文からではなく、資料・事例から考えさせ、思考力や理解力を深めることができるように工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

○「資料（もっと学びを広げよう！深めよう！）」では、見開き1ページ分を使い、学習内容から日常生活へのつながりや体験談、相談例等、これからの生活に生かすことができるように工夫されている。

【資料】

○単元の最後に練習問題が掲載されており、学習内容の振り返りができるように工夫されている。

【表記・表現】

○押さえるポイントが明確になるように、単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりしている。

【総括】

○学習の進め方が明記されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

○「もっと学びを広げよう！深めよう！」では、児童が習得した知識を実生活で実践に結びつける力を身に付けることができるように工夫されている。

○SDGs や新型コロナウイルス、LGBTQ などの内容も記載されており、児童

が現代の諸課題について考えられるように工夫されている。

文教社 新わたしたちの保健

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○毎時の「学習のまとめ」の中で、キーワードが太字になっていたり、色枠で強調されていたり、知識・技能が習得しやすいように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「わたしの〇〇宣言」に記入し、その根拠や友達の意見を聞くことで自身の思考を深めることができるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「本時の学習のめあて」「本時の Menu」が載っているため、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

○「ちょっとまった!」「Clear」「Complete」の項目があり、課題解決に向けた補助的な発問が提示されており、理解を深められるように工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

○自分を振り返って書く欄や「もう一歩先の自分へ」の項目があり、振り返りから今後の生活へのつながりを意識した展開になるように工夫されている。

【資料】

○二次元コードは文教社のサイトに繋がっている。サイト内は各学年の動画がおさめられている。全ての二次元コードが同じリンク場所に移動する。

【表記・表現】

○挿絵や写真、イラストが大きく見やすい。また、単元の見出しや学習課題がはっきりしており、児童が課題をつかみやすい表記になっている。

【総括】

○1 単位時間の流れがわかりやすいように学習のめあてが示されている。

○各時間最後の「もう一歩先の自分へ」では、実践的活動を多く取り入れて、知識・技能を身に付けられるように工夫されている。

○生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するために、資料等を活用して児童の自発的な学習を促すような工夫がされている。

光文書院 小学保健

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が付いていたりするため、必要な知識・技能の習得がしやすいように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○「考えよう」では、多様な資料が掲載されているため思考しやすく、また周りの友達に聞く場面も設定されているため、表現力の育成につなげられるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「生かそう」では、学習したことを基に自分の考えを書いたり、友達にアドバイスをしたりする等、主体的に取り組めるように工夫されている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

○絵やグラフだけでなく、写真も多く使用されており、資料を基に思考力や理解力がより深められるように工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

○児童がわかるような身近な資料や写真から学習内容の生かし方につなげ、児童の興味・関心を高める工夫がされている。

【資料】

○1ページ、1単元あたりの図やデータ、イラストが多い。また、単元によって SST が記載されている。

【表記・表現】

○漫画を活用した導入ページを設け、児童の興味・関心を引くように工夫されている。

【総括】

○各単元の最後には、学習のまとめとして発問形式で示され、理解を深めることができるように工夫されている。

○単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりして押さえる箇所が明確になるように工夫されている。

○新型コロナウイルス、LGBTQ 等の内容も記載されており、児童が現代の諸課題について考えられるように工夫されている。

学研 新・みんなの保健

【内容】

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

○キーワードが太字になっていたり、学習内容の補足が加えられたりするため、必要な知識・技能が習得しやすいように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○ピース2で話し合う場面が設定されており、他の人に伝える活動によっ

	<p>て、思考を深める工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○ピース1では「ふりかえり」の活動を入れることで、自分の生活や行動を振り返り、学習内容に必要性を高めることができるように工夫されている。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫></p> <p>○ピース3では、学習したことをこれからの生活に生かす場が設定され、理解したことをさらに深めることができるように工夫されている。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○各単元の末には、「もっと」や「ほけんのはこ」といった項目を設定し、学習内容の生かし方や発展学習ができるように工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○二次元コードを読み込むことで、資料をダウンロードすることができるので、教師が資料の作成をしやすくなるように工夫されている。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○単元の初めに「学習の目標」が書かれており、児童が各単元でのゴールを意識させ、1単位時間のめあてもゴールにつながる流れになっている。</p> <p>【総括】</p> <p>○高学年の教科書では各時間の最初に「これまで学習したこと」が載っており、既習事項の想起ができるようになっている。</p> <p>○保健学習の進め方が明記され、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○道徳やキャリア教育、食育に関する内容もあり、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質能力を育成することができるように工夫されている。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
秋本委員	今日的な健康課題がすべての教科書に入っているということだが、新型コロナウイルスや熱中症、防災、LGBTQも含め、すべて網羅されているということでしょうか。
秋山指導主事	内容の取扱い方については様々あるが、大きな枠で捉えると、新型コロナウイルス、LGBTQ、SDGsなどはどの教科書会社でも取り上げられている。
秋本委員	県の報告書によると、総ページ数はさほど変わらないが、表とグラフの数は圧倒的に東京書籍が多いこと、二次元コードの数も多いということがわかるが、そのあたりのことは協議の際に話題として出たか。
秋山指導主事	言葉だけの理解よりも、資料や写真、イラスト等があった方が理解はしやすいのではないかという話題は出ていた。
小野田会長	他に質問、意見等はあるか。

各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に英語をお願いします。
小島指導主事 (羽生市教委)	<p>小学校 英語について報告する。</p> <p>東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course</p> <p>【内容】</p> <p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○アニメや実写映像による導入で単元の内容に慣れ親しみ、友達とのやりとりを中心に学習内容の定着を図った後、単元のゴールとなる活動で会話や発表を楽しむ構成となっている。各単元末に「Sounds and Letters」で文字や音に慣れ親しむ活動や文を読む活動がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を、児童が自発的に行うことができるように、コミュニケーションを行う目的や場面、状況が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○Over the Horizon が各ユニットにあり、世界の生活や文化について触れることができ、国際理解についての学習を深めることができる。また、英語や日本語を使って、自分の考えを表現するようになっている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○各 Unit. の Starting out では、Watch and Think において、登場人物の問いかけから自分が伝えたいことを考えて Your Plan に整理することで、相手意識と目的意識をもって学習することができるようになっている。</p> <p>【資料】</p> <p>○ストーリーやチャンツ、歌など二次元コードから情報が収集できるような工夫が見られる。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○英語、日本語ともに、ユニバーサルデザインの書体となっている。</p> <p>【総括】</p> <p>○単元ごとに Goal が示されており、Unit の Goal とまとめの活動が概ね一致していてわかりやすい。また、年3回「Check Your Steps」で内容を整理して発表することで、語彙や表現の定着を図っている。</p> <p>○デジタル教科書では、教科書の書き込みスペースがワークシート化されていて、授業支援ツールと連携して児童のアウトプットの収集・整理を行うことができるようになっている。</p>

開隆堂出版 Junior Sunshine

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○英語を聞く、使うを繰り返した後、音声で慣れ親しんだ英語を文字と結びつけ最後に書く活動という構成になっている。既習の語句や表現を繰り返し使用し定着を図る「Small Talk」を2時間に1回程度設定している。アルファベット学習「Sounds and Letters」は帯活動になっており、継続的に行えるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○各単元で身に付けさせたい力を明確にし、ゴールの言語活動が設定されており、毎時間、言語活動を積み重ね、資質・能力が単元を通してステップバイステップで学習できるよう構成されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○「our world」では、世界の生活や文化について示されており、国際理解についての学習を深めることができる。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

○Sound Box では音声を聞いて文字の音に親しんだり、文字の音に気を付けて読んだりする活動を取り入れている。また、レッスンごとに学習を振り返り CAN-DO チェックをする機会がある。

【資料】

○言語活動やアニメーションなど、二次元コードを用いて情報が収集できる。

【表記・表現】

○英語はオリジナルの書体である。日本語はユニバーサルデザインの書体である。

【総括】

○各単元で身に付けさせたい力を明確にし、ゴールの言語活動が設定されており、活動の見通しをもてるような工夫がされている。振り返りの内容が、「聞く・読む・話す・書く」の項目に分かれているので、児童自身が5つの領域を意識しやすくなっている。

○デジタル教科書にはリンク機能があり、自分で調べたウェブサイトへのリンクを貼ることができる。また、授業の流れや復習に役立つ資料集等を掲載している。

三省堂 CROWN Jr.

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○一年間に設定された3つの大きな言語活動(発表)に向かって、それぞれ2~3のLessonで、語句や表現を身に付ける構成となっている。各Lessonは聞く・話す・練習・コミュニケーション・読む・書くの順序で表現を学習する。全Lessonに文字と音のつながり、語句、表現の3種類のチャンツがある。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○JUMPの活動では、いくつかのレッスンで学習した内容を駆使して、目的や場面、状況などに応じて、思考力・判断力・表現力を働かせて深い学びにつながる課題が設定されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○地域のことや学校生活、将来のことなど、今そしてこれからの自分を考える内容となっている。また、Hello Worldでは、他国の文化について知り、他者への理解を深めることができるようになっている。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

○Partを通して語句や表現のインプットし、「聞く」「話す」を中心とした言語活動でそれらを習得していけるようになっている。さらに、Partでの学習を通して身に付けた語句や表現を使ってまとめの言語活動を行い、実際のコミュニケーションへの活用を図っている。

【資料】

○二次元コードからウェブサイトにはアクセスでき、情報が収集できるようになっている。

【表記・表現】

○紙面がユニバーサルデザインの構成となっている。

【総括】

○Unitの導入では、Unit全体の学習内容の見通し図るとともに、Unit内の活動に合わせたモデル動画を見て、学習内容についてイメージをもつことができるようになっている。また、Unitの学習後にどんなことを言いたいかを考えてMy Goalを書くことで、自分のゴールを設定することができるようになっている。

○デジタル教科書では、ペン機能やポートフォリオ機能がある。

教育出版 ONE WORLD Smiles

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○学びの見通しが立てられるよう1年間の学習のロードマップを示した

上で、各 Lesson に日本語で Goal を明示している。「Let' s Listen」 と「Activity」を中心に段階的に読み書きを学べるシンプルで分かりやすい単元構成である。全 Lesson に「Sound and Letters」と「Review」があり、文字、音の違い、語順を丁寧に学べるようになっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○学校や家庭生活といった、児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としつつ、レストランでの注文や道案内など、特有の表現が使われる場面をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるように構成されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○Lesson の内容に、世界の生活や文化を盛り込まれており、英語の学習を進めながら、国際理解に関する学習を深めることができるようになっている。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

○Lesson 内にペアやグループで協力し合いながら取り組む Activity や Final Activity を設け、実際にコミュニケーション活動をする機会を豊富に取り入れている。その際には、学習した内容を活用してコミュニケーションがとれるように工夫されている。

【資料】

○二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスでき、情報が収集できる。

【表記・表現】

○英語、日本語ともに、ユニバーサルデザインの書体となっている。

【総括】

○各単元がシンプルに構成されており、導入の部分の「Let' s Say It Together」でその単元で学ぶ表現を言う口慣らしの活動を設けているので、単元を通して習得すべき表現を意識しながら学習に臨めるようになっている。

○デジタル教科書の英単語を選択するとネイティブの発音が再生されるなど、個別最適な学びや1人でも対話の練習ができるといった工夫がされている。

光村図書出版 Here We Go!

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○各 Unit が Hop, Step, Jump の3段階で構成され、基礎的な知識及び技

能を着実に習得できるようにしている。まとめの活動を年3回設定し、Unit で学んだ表現を発信できるように工夫している。各 Unit に Small Talk を新設し、既習表現の活用と定着を促すとともに、相づちを扱い、対話の続け方に慣れることができるようにしている。各 Unit の目標が明確に示されており、Can do リストに関連した振り返りができるようになっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

○各 Unit に、言語活動を行う Let' s try. と Plus One が設けてあり、Let' s try. で扱った話題を Plus One で別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりすることで、児童の思考力・判断力・表現力が繰り返し養えるように工夫している。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

○Let' s watch and think では、様々な国の文化について考えたり、考えの違いについて触れたりして、国際理解について深めることができる。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

○「5年生でできるようになること」「6年生でできるようになること」として、5つの領域別の到達目標 (CAN-DO) が該当する Unit と合わせて提示されているとともに、各 Unit の最後に「ふりかえろう」で該当する領域ごとに自己評価ができるようになっている。

【資料】

○二次元コードからリスニング音声やアニメーション等の情報が収集できる。

【表記・表現】

○紙面がユニバーサルデザインの構成となっている。

【総括】

○Unit を Hop!、Step、Jump の3段階で構成し、Step はさらに Step 1 と Step 2 に分かれている。Step ごとに聞く活動から徐々に話す・書く・読む活動へと進むことで、インプットからアウトプットへスムーズに進める。

○デジタル教科書では、ゴール活動のモデル動画を見ることで、目指すゴールを分かりやすく紹介している。

新興出版社啓林館 Blue Sky elementary

【内容】

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

○児童が見通しをもって学習を進められるように、Unit のとびらに Goal

	<p>と各 Step のめあてを明示している。6年生では、Step 3 で日記や手紙、スピーチ原稿などのまとまった文章を書く活動がある。「読む」「書く」の学習は各 Unit の最後に1時間配当され、文字の形順になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○言葉の使用場面や使い方を考えたり、コミュニケーションに大切なことは何かを考えさせたりするなどの児童が考える場面が多く設定されており、児童の思考力や判断力、表現力などを養う工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○Did you know? では、世界の国々の文化に触れながら、SDGs に係る取組について学ぶなど、世界で活躍する人を通して、考え方を学ぶことができるようになっている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○Watch and do では、映像を見て、コミュニケーションをとる上でどんなところがよかったか、どんな工夫があったのかを考えるなど、よりよいコミュニケーションの工夫について考えることができる。</p> <p>【資料】</p> <p>○二次元コードから、「英文 Maker」等の情報が収集できる。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○英語、日本語ともにユニバーサルデザインの書体となっている。</p> <p>【総括】</p> <p>○Unit の Step を3段階構成にしている。まず、Step 1 で、語句や表現を使いながら言葉になれ、Step 2 で語句や表現をさらに使って身に付け、Step 3 で身に付けた表現を使ってコミュニケーションを楽しむ、というスモールステップの学習構成になっている。Unit の最後に各 Step の振り返りができるようになっている。</p> <p>○デジタル教科書では、ルビふりや白黒反転等特別支援教育の視点に配慮した工夫が見られる。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
松永委員	現行が新設の教科書であり、今回が初めての改訂となる。現行の教科書を使い、どんな学習指導が主体的な活動となるか各学校において研究し、それが定着してきている時期だと考える。現行の教科書と今回改訂された教科書を比較して、どのようなことが新しく加わったのか。
小島指導主事	どの教科書会社においても、二次元コードが大幅に追加されている。二次元コード内には、動画やチャンツなどが掲載されている。
小野田会長	他に、質問、意見等はあるか。
遠藤委員	英語の学習は話すことが重要であると言われる。すべての教科書におい

	て、話す、聞く、読むことが重視されているが、子供たちが自然と会話ができる場面や話さなければならないような場面について、調査研究において話題にあがっていたか。
小島指導主事	導入において、いかに子供たちの関心を高めていくかについては話題にあがっていた。
小野田会長	他に、質問、意見等はあるか。
小野田会長	6社の学習量に差があるように感じる。調査研究においてそのような話題はあがっていたか。また、これは加須市だけの課題かもしれないが、本市の中学生の実態や課題を分析していくと、中学生になってから書くことに大きな課題が見られる。書く活動に視点を当てたときに、それぞれの教科書会社の特色として、量に違いがあるかどうかについて、調査研究において話題があがっていたか。
小島指導主事	調査研究において、書く活動が教科書会社によっては多い部分もあるという話は出ていた。
小野田会長	学習量自体はどうか。
小島指導主事	学習量に関しては、特に調査研究の中では話題は出ていない。
小野田会長	他に、質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	次に道德をお願いします。
増村指導主事 (羽生市教委)	<p>小学校 道德ついて報告する。</p> <p>東京書籍 新編 新しい道德</p> <p>【内容】</p> <p><道德科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材の「考えよう」では、道德的価値に最も迫ることができる中心発問が1つ選ばれ、道德的価値について理解できるよう工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○いじめ防止に関わる3つのユニットは全学年同じ時期に配当し、学校全体でいじめ問題に向き合えるよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○全学年と各学年の「重点指導内容項目」が設定されており、繰り返しの指導で段階的・系統的に理解を深められるようになっている。</p> <p><「考え、議論する道德」を通して道德性を育成する工夫></p> <p>○巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」では、議論する際の文言例が掲載されており、巻末「考えるためのツール」には、話し合い活動を促すツールが用意されていて、主体的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○関連するウェブサイトへ遷移する二次元コードが、教材冒頭の定位置に掲載されている。全ての教材に3つのデジタルコンテンツ「朗読音声」</p>

「スライドショー（紙芝居）」「デジタルノート」が用意されている。

【表記・表現】

○教科書本文には、ロービジョンやディスクレシアに配慮したデザインのユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されている。

【総括】

○体験的な学習や問題解決的な学習、思考ツールを活用できるページがある。

○場面絵に合わせて朗読音声が出るスライドショーなどのデジタルコンテンツが用意されている。

○詩や写真、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。

教育出版 小学道徳 はばたこう明日へ

【内容】

<道徳科の目標に関わる工夫>

○教材の最後の「学習のてびき」には様々な問いが設けられている。また、問いには道徳的価値の理解を深めるものが盛り込まれており、自分の生き方についての考えを深められるよう工夫されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

○最優先課題であるいじめや情報モラルについては全学年で重点テーマとして位置付け、教材とコラムの構成でユニット化されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

○低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材を多く取り上げ、発達の段階に応じて教材の種類や挿絵の入れ方、文章量が配慮されている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

○モラルスキルトレーニングなどの体験的な学習を行ったり、「問題を解決しよう」では問題解決的な学習に取り組んだりして、道徳的価値を考える工夫がされている。

【資料】

○教科書の学びをさらに深め、充実できるように、二次元コードでリンクさせる「まなびリンク」がある。教材冒頭には教材の解説、教材末には関連図書の紹介や関連する外部リンクの二次元コードが掲載されている。

【表記・表現】

○教材ごとに、道徳科の内容項目の4つの視点がマークで示されている。色だけでなく、絵柄も変えている。

【総括】

- 「学習のてびき」により、考え、議論する授業展開ができるようにしている。
- 個別学習、共働学習などに使えるデジタル教材「まなびリンク」が設けられている。
- 絵本や詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。

光村図書出版 道徳 きみが いちばん ひかるとき

【内容】

<道徳科の目標に関わる工夫>

- 全学年を通して、教材の最後に学習の手引き「考えよう・話し合おう」が設けられており、自分に引き寄せて考えたり、問題解決のために話し合ったりと、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて設定されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

- いじめ問題、情報モラル、環境、共生の4つのテーマについて、教材とコラムで構成したユニットが設置されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

- 児童の1年間の成長に即して、年間を3つのまとまりに分けて構成していて、児童の発達の段階や特性を考慮した内容や分量になっている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

- 「演じて考えよう」「心を通わそう」では、具体的な手立てを提示して、役割演技や話し合い活動を主体的に行うことができるように工夫されている。

【資料】

- 児童が学びを広げ深めることができるようにデジタルコンテンツが用意されている。教材に関連した資料、動画、朗読などのコンテンツにアクセスできるようになっている。

【表記・表現】

- 本文にはユニバーサルデザインに配慮したオリジナルの書体が使用されている。「つなげよう」などの小さい文字はユニバーサルデザインフォントが利用されている。カラーユニバーサルデザインへの配慮が見られる。

【総括】

- 「考えよう・話し合おう」で問題解決的な学習へつながるようにしている。
- 教材の人物のインタビュー動画や声優による音声朗読などがデジタルコンテンツとして設定されている。

○絵本や詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。

日本文教出版 小学道德 生きる力

【内容】

<道德科の目標に関わる工夫>

○教材の最後の「見つめよう・生かそう」では、これからの児童自身に生かせるような発問例が設定されている。「道德ノート」は、自分の言葉やイメージを表現し、成長を実感できるよう工夫されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

○いじめ、情報モラル、SDGs、多文化共生、自己肯定感の5つのテーマに対して、教材とコラム「心のベンチ」を組み合わせる系統的に配列されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

○どの教材も「導入の問い」「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の3つの発問で学びの流れが示してあり、児童が主体的に学ぶことができるように工夫されている。

<「考え、議論する道德」を通して道德性を育成する工夫>

○別冊の「道德ノート」で、教材ごとに書くことができるよう工夫されていたり、「他の教科などとの関連」でより多面的・多角的に考えることができるようになっていたりしている。

【資料】

○全ての教材冒頭に朗読音声、画像、アニメーション、ワークシート、動画、朗読動画などのデジタルコンテンツが用意されている。「道具箱」の中には、心情メーター、シンキングツール、ワークシートなどがある。

【表記・表現】

○教材ごとに、道德科の内容項目の4つの視点がマークで示されている。色だけでなく、絵柄も変えている。目次の番号も色分けされている。

【総括】

○教材ごとに3つの発問があり、児童が主体的に学習できるようになっている。

○別冊の「道德ノート」は紙とデジタルの使い分けができ、実態に応じた授業展開ができるよう工夫されている。

○詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。

光文書院 小学道德 ゆたかな心

【内容】

<道德科の目標に関わる工夫>

○教材の最後の「ひろげよう」では、道徳の時間に学んだことを実生活で生かそうとする意欲につながるよう工夫されている。巻末の「学びの足あと」では、学習の記録を積み重ね、自ら成長を実感できるようになっている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

○全学年の重点主題として「いじめを生まない心」を主眼に、児童自らがいじめの防止などに主体的に関わる態度を育めるように工夫されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

○人間としての生き方に迫る題材を選定したり、挿絵に多様な表現方法を取り入れたり工夫されていて、児童が自分事として考えを深められるように工夫されている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

○教材付随のコラムでは、体験的な活動や実生活につながる活動を提案するなど、自分の生き方を考え続けられる工夫がされている。

【資料】

○教材冒頭に二次元コードが掲載されている。教材理解をサポートする写真や動画、参考Webサイト、登場する人物のメッセージなどを視聴することができるようになっている。

【表記・表現】

○本文はユニバーサルデザインフォントが使用されている。1年～3年は総ふりがな、4年生以上は当該学年以上の漢字にふりがながふられている。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

【総括】

○発達の段階に応じたレジリエンスコラムで自己肯定感を高めようとする工夫が見られる。

○教材冒頭にある二次元コードから、教材理解を支援する写真や動画、参考Webサイトが見られる。

○絵、多様な地域教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。

Gakken 新版 みんなの道徳

【内容】

<道徳科の目標に関わる工夫>

○教材の最後に配置した「考えよう」では、児童が自己を見つめ考えるきっかけとなるような問いを設定している。「深めよう」では、3つのステップで考えが深められるようになっている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

	<p>○いのちを最重要テーマとし、ユニットで異なる内容項目の教材を組み合わせている。いのちの教育を土台に、いじめ防止の教材が配置されている。</p> <p><発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、先人たちの足跡から学ぶ教材など、児童を引き付ける人物教材をもとに、多様な生き方から考えを深められるよう工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「深めよう」「心のパスポート」では、問題解決的な学習や体験的な学習を通して考えを深められるように工夫されている。</p> <p>【資料】</p> <p>○教材タイトル下部に二次元コードが掲載配置されており、教材に関する写真・動画・音声、教材に関連したクイズ形式の教材にアクセスできる。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>○教材ごとに、道徳科の内容項目の4つの視点がマークで示されている。色だけでなく、絵柄も変えている。現代的課題に関連する事項がマークにされ、タイトル下部に掲載されている。目次の番号も色分けされている。</p> <p>【総括】</p> <p>○主題名を巻末に提示し、児童が主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○教材理解を助けるデジタルコンテンツが用意され、教材に関連したクイズ形式の動画が見られる。</p> <p>○詩、漫画教材、スポーツ選手、先人の伝記を題材にした教材がある。</p>
小野田会長	質問、意見等はあるか。
駒澤委員	どの教科書会社も、読み物として非常に優れていると感じる。自分の心が痛くなるような話がたくさんあり、心を矯正されるような部分があった。報告の中で、低学年は物語、中学年は生活、高学年は人物にあたる話が多いとあったが、これは各社共通しているのか。
増村指導主事	調査研究において、各社共通として低学年が物語、中学年は生活、高学年が人物であるという話し合いは行われていない。
小野田会長	他に、質問、意見等はあるか。
松永委員	道徳の特徴として、教材を扱い学習活動を工夫し、児童が道徳的価値を自覚し、道徳的実践力を育成するといったように、非常に高い目標を掲げている。扱われている教材が、いかに多様な価値観を自覚できるか、自分の生き方を考えることができるかが必要となってくる。今回の改訂において、新しい資料、現代的な話題や人物など取り上げている部分があるか。
増村指導主事	どの教科書会社においても、教材が大きく変わった部分は見られない。

	調査研究においては、最近話題のスポーツ選手や偉人などを取り上げている教科書会社もあるという話が出ていた。
松永委員	承知した。不易の部分を大事にしていると認識した。
小野田会長	他に、質問、意見等はあるか。
各委員	(質問等なし)
小野田会長	以上、予定されていた本日の説明及び協議については終了した。皆さまの協力により円滑に終了することができた。議長の任を解かせていただく。
清水課長	事務連絡を事務局より申し上げる。
辻本指導主事	本日の報告を受け、第3回採択地区協議会を7月11日に本日と同じ会場で午前9時より行う。第3において協議会における選定となる。選定方法については、第1回で確認したとおり委員6名の投票である。
清水課長	【閉会】
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和5年7月18日</p> <p>署名 <u>小野田 誠</u></p> <p>署名 <u>秋本 文子</u></p> <p>署名 <u>遠藤 康江</u></p>	